

令和6年第3回さくら市議会定例会一般質問順番

令和6年9月5日（木）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1 番	岡村 浩雅 議員
2 番	福田 克之 議員
3 番	矢澤 功 議員
4 番	大河原千晶 議員

令和6年9月6日（金）午前10時～ 2人

質問順番	質問者名
1 番	落合千枝子 議員
2 番	加藤 誠一 議員

1. 第9期さくら市高齢者総合保健福祉計画の特徴、特色、実施に向けての考えは

第9期高齢者総合保健福祉計画策定に際し、第8期計画をどのように総括し、どのような議論がされ第9期計画が策定されたのか。またその特徴、特色、実施に向けての考えは。

答弁を求める者 市長

2. さくら市の働き方改革の取組と課題、今後の対応は

答弁を求める者 市長

3. 情報公開と情報管理の運用状況は

情報公開の実施状況と情報管理の在り方について

① 情報の種類とそれぞれの管理の在り方は。

答弁を求める者 市長

1. みどりの食料システム戦略について

環境負荷低減に向けた取組を推進するために「みどりの食料システム法」が令和4年4月22日に成立し、5月2日に公布7月1日に施行されました。そこで持続可能な農業生産を実現させるために、県では令和5年から令和9年までの5カ年計画を全25市町オール栃木体制で推進しています。それが「とちぎグリーン農業推進方針」です。市の取り組みについて伺います。

- ① 市の重点的な取り組みである、耕畜連携による堆肥の利用促進、スマート農業技術の導入による省力化の推進の現状は。
- ② より環境にやさしい有機農業への推進方法は。
- ③ みどり認定を受けている個人、グループは。
- ④ 未来を支える子どもたちのために、今後、安心安全で地産地消を進める学校給食の食材調達方法は。

答弁を求める者 市長

2. 広報紙・議会だよりの配布について

広報紙や議会だよりを受け取る事ができるのは、さくら市民として唯一平等な権利だと思います。そこで全戸配布が叶えられるポスティングについて伺います。

- ① 広報紙・議会だよりの配布について、現状と課題
- ② 課題を踏まえた今後の取り組みについて

答弁を求める者 市長

1. 熱中症対策について

今年の夏も連日35度以上の気温が続き、熱中症の危険が続いている。全国的には熱中症での死亡事例も報告されていることから、本市での取り組み状況について伺う。

- ① 小・中学校における熱中症対策（体育の授業、部活動などの屋外での活動、水泳の授業等）の現状及び課題は。
- ② 市内私立認定こども園等で遊戯室等の子どもが体を使って遊ぶスペースにおいて冷房が設置されていない園がある。国の補助を使い設置できないか。
- ③ 日中屋外で働く職員向けに「バッテリーで稼働する小型ファンを内蔵した作業着」を支給したらどうか。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 多面的機能支払交付金事業の推進について

本市においても多面的支払交付金事業に取り組む地域が増えてきた。一方で役員のなり手不足や事務手間などの課題も多い。そこで以下の点について伺う。

- ① 本市における「多面的機能支払交付金事業」の現状および課題は。
- ② 他の地域の活動を参考にしようとも情報が少ない。活動地域同士での横の連携が取れる体制をとったらどうか。
- ③ 来年度より、高根沢町では町を一つの活動組織として、全町的に広域での活動を開始する予定である。本市においても上記活動課題解決のため、本市を一つの活動組織、もしくは旧町単位での活動組織として取り組んだらどうか。

答弁を求める者 市長

3. 本市へのU I J ターン支援について

以前より人口の社会減の原因となっている、本市出身の学生の東京圏での就職がある。これを少しでも改善すべく、以下の点につき伺う。

- ① 本市におけるU I J ターンの現状は。
- ② 本年度より、学生の就職活動における交通費の支給、来年度はこの交通費の支給を受けた学生が実際に地方に移住する際にかかる移転費補助が始まる。この制度を利用し、どのように学生の移住につなげていくか。
- ③ 学生の地方移住を後押しする制度として、以前にも質問したが自治体が奨学金の返還を肩代わりする「奨学金返還支援制度」がある。②と同時にスタートしてはどうか。

答弁を求める者 市長、教育長

1. 市民の安全確保について

- ① 防災情報配信システムについて
- ② 避難行動要支援者名簿について
- ③ 防犯カメラの設置について
- ④ 危機管理体制の組織再編について

答弁を求める者 市長

2. 蒲須坂駅周辺整備のグランドデザインについて

全体構想と要期間と課題について

答弁を求める者 市長

1. 新型コロナウイルス感染症対応ワクチンについて

- ① mRNAワクチンの後遺症について
- ② 予防接種救済制度について、利用している人の人数や内訳は。
- ③ mRNAワクチン、自己増殖型レプリコンワクチンの効果、リスクの市民への周知は。

答弁を求める者 市長

2. さくら市の観光政策について～「稼ぐ観光政策」をどう展開するか

- ① さくら市の観光に関する課題の分析は。
- ② 地域の魅力を地域に挙げて創出するための取り組みは。
- ③ インバウンドに対する考え、取り組みは。
- ④ 人材育成の視点からも地域DMOを組織する考えは。

答弁を求める者 市長

1. 南海トラフ地震（巨大地震）の対応について

先日、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。8月15日をもって、特別な呼びかけは終了しました。

今年は、令和6年能登半島地震が発生し、関東地方においても栃木県はもちろん、茨城県、千葉県で地震が発生しています。

政府の想定では、本市を含む栃木県における災害は低いと想定されていますが、経済等における打撃はあります。

だからこそ、本市としての備え（BCP事業継続計画、備蓄、避難所の再確認と再点検、被害者の受け入れ等）が必要と考えられます。

また、大型台風等、年間を通しての自然災害も想定を超えるものばかりです。そこで、取り組みが必要と考えますが、市としての考え方について伺います。

- ① 現在の対応
- ② 関係機関の連携
- ③ 課題、問題点
- ④ 今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 市内プール（学校を含む）のあり方について

今年も、暑い夏休みでした。

毎日、天気予報を見ている、気温35度を超えており、私たちが児童生徒の頃では考えられない気候になったと実感します。

そこで、学校プール授業の考え方も議論しなくてはなりません。

例えば、夏に授業を行わず、市内や民間などのプールを使用できるようにして、年間を通して授業を行えば、カリキュラムを組み立てる上での柔軟性や、教員の働き方改革にもつながります。

場合によっては、施設管理面からして有効です。

そこで、取り組みが必要と考えますが、市としての考え方について伺います。

- ① 現在の対応
 - ② 関係機関（民間）との連携
 - ③ 課題、問題点
 - ④ 今後の対応
- 以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長、教育長

3. J R蒲須坂駅について

来年3月に、J R蒲須坂駅は、日本郵便とJ R東日本の連携協定による、郵便局が駅と一体となった駅舎が誕生します。

J R大宮支社管内では3番目、本線では、初めてとなります。

駅舎内といえ、市で管理しているトイレもあります。数年前に、J R東日本からさくら市に移管され整備されました。

今回は、駅舎も新しくなるとともに、利用客の利便性、バリアフリーの観点からも、トイレの再整備も必要と考えられます。

そこで、取り組みが必要と考えますが、市としての考え方について伺います。

- ① 現在の対応
 - ② 関係機関（民間）との連携
 - ③ 課題、問題点
 - ④ 今後の対応
- 以上、詳細に問う。

答弁を求める者 市長